

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2018 年度（後期）指定公募
「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

第 3 回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会

テーマ

『「 All Japan で在宅医療をブラッシュアップする」

ー在宅医療が日本を救うー』

申請者：石垣 泰則

提出年月日：令和元年 12 月 1 日

■ 実施概要

1. 大会名：第3回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会
全国在宅療養支援診療所連絡会第7回全国大会
全国在宅療養支援歯科診療所連絡会第7回全国大会
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会第10回学術研修大会
2. テーマ：「All Japan で在宅医療をブラッシュアップする」ー在宅医療が日本を救うー
3. 日時：令和元年9月28日(土)・29日(日)
4. 会場：コンgresスクエア日本橋
5. 対象：在宅医療に関わる医師・歯科医師・薬剤師及びパラメディカル、在宅医療に関心のある福祉職、学生
6. 参加費：【参加区分A】 医歯薬 連絡会会員
事前参加登録(事前支払) 8,000円 事前参加登録(当日支払)、当日参加 10,000円
一般社団法人全国在宅療養支援歯科診療所連絡会、一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会、一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会

【参加区分B】 日本在宅ケアアライアンス加盟団体(ただし医師・歯科医師・薬剤師は区分A)
事前参加登録(事前支払)：4,000円 事前参加登録(当日支払)、当日参加：6,000円
【参加区分C】 看護師・リハ(OT ST PT)・歯科衛生士・管理栄養士・福祉職
事前参加登録(事前支払)：6,000円 事前参加登録(当日支払)、当日参加：8,000円
【参加区分D】 非会員 医師・歯科医師・薬剤師、その他
事前参加登録(事前支払)：10,000円 事前参加登録(当日支払)、当日参加：12,000円
【参加区分E】 学生
事前参加登録(事前支払)：1,000円 事前参加登録(当日支払)、当日参加：2,000円
7. 主催：一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会
一般社団法人全国在宅療養支援歯科診療所連絡会
一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
8. 共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
9. 後援：厚生労働省、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、日本在宅ケアアライアンス、高齢者住宅財団、公益社団法人日本歯科衛生士会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人東京都医師会、公益社団法人東京都歯科医師会、公益社団法人東京都薬剤師会、公益社団法人東京都栄養士会、一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会、公益社団法人 東京都看護協会、一般社団法人茨城県介護支援専門員協会、特定非営利活動法人とちぎケアマネジャー協会、一般社団法人群馬県介護支援専門員協会、一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会、特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会、特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会

10. 大会長 : 第3回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会:石垣 泰則(医療法人社団悠輝会 理事長)
全国在宅療養支援診療所連絡会第7回全国大会
: 中野 一司(医療法人ナカノ会 理事長)
全国在宅療養支援歯科診療所連絡会第7回全国大会
: 三木 次郎 (三木歯科医院 院長)
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会第9回学術研修大会
: 大木 一正 株式会社クリーン薬局 代表取締役

■ 実施状況

1. 参加登録者 : 678名(医師68名、歯科医師68名、薬剤師218名、看護師10名、
歯科衛生士54名、ケアマネジャー1名、介護士1名、
福祉職4名、学生20名、スタッフ61名、参加企業54名、
招待者60名、その他44名)
2. プログラム : 30(特別講演3,シンポジウム13,共催セミナー9,教育セミナー3,
口頭発表1,ポスター発表1)

■ 感想

少子高齢化社会から人口減少社会の転換期差し掛かり、医療供給体制の大きな変革が求められ、地域包括ケアシステムが全国の自治体の取り組みとして始まっている。地域包括ケアシステムは在宅医療が成立するための生活と地域を保障するものであり、医歯薬の他にも看護、リハビリテーション、栄養、介護をはじめとする多職種が協働し、これを機能させなければならない。この時代に医療の柱である在宅医療を担う医師、歯科医師、薬剤師が組織する一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会、一般社団法人全国在宅療養歯科診療所連絡会、一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(JHOP)が全国在宅医歯薬連合会として一体となり、良質な在宅医療を求めて本気で取り組む意義がある。

今回のメインテーマは「All Japanで在宅医療をブラッシュアップする」であり、日本在宅ケアアライアンス(新田國夫議長)を構成する20の学会並びに職能団体に大会への参加を促した。また、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師に加え担当行政機関である厚生労働省と地方自治体の後援をはじめ、国民の信託を得た国会議員の参加する在宅医療政治連盟も参加し、文字通りAll Japanの体制を敷いた大会であった。

第3回全国大会の参加者は670名を超え、内容の濃いディスカッションを行い、大会を大いに盛り上げて頂いた。プログラムは大会推進委員会で繰り返し議論し、昨今多様化する在宅医療専門職のニーズに応えるよう準備された。高所大局からの視点では厚労省迫井審議官による特別講演、在宅医療政治連盟による国民的視点からの医療介護連携に関するシンポジウム、そして国際的観点から在宅医療の国際展開とアジア健康構想に関するシンポジウムが用意された。近年注目されているACP(advanced care planning:人生会議)をテーマとして取り上げ、基本概念と実践の2つのセッションで十分に議論がなされた。

連携をキーワードとして、病院医療と在宅医療(病院外医療)の連携、院内と院外の専門職の連携が議論され、栄養・摂食嚥下・褥瘡の管理や認知症ケア、歯科医師の地域における実務に関するシンポジウムが開催された。連携を通じ、専門職が協働した地域作りに繋がる例が話題に上がった。

学際的テーマを取り上げたのも今大会の特色である。再生医療や最新のリハビリテーション医療と在宅医療の関連に関するシンポジウムや薬物動態並びに高齢者医薬品適正使用指針といった専門的薬学に関する講演、そして介護の専門性に関して熱心な議論がなされた。

今大会の参加者には、日本医師会生涯教育、歯科施設基準認定講座、日本ケアマネジメント学会認定単位、認定介護福祉士研修単位等の単位取得が可能なプログラムが用意された。専門職の学ぶ機会を提供することは、今後の在宅医療の質の向上に意義深く、多職種が集う当会のような場が貴重である。

今年度全国在宅医歯薬連合会の会長を新田國夫先生から受け継いだ鈴木央先生が副大会長を務め、1年余りの準備期間に医歯薬の連絡会の意思疎通が綿密に行われたことは大きな収穫であった。各専門職種に共通する課題、あるいは特有な問題を共有し、相互の理解に繋がったことは意味深い。医歯薬の協力関係をさらに発展させ、今後の大会に繋がることを期待する。

大会運営の方針としては質素儉約を旨とし、健全な大会運営を心がける必要性を今更ながら痛感した。全国在宅医療医歯薬連合会大会が在宅医療に関連するすべての人たちのために開催され、国民のため良質な在宅医療の普及と推進に資する大会に育つことを願ってやまない。

最後に、大会を助成してくださった公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団に感謝の意を表す。

■ プログラム

【記念式典プログラム】

- 1.開会の辞 鈴木央（全国在宅医療医歯薬連合会会長）
 - 2.日本医師会御挨拶（長島 公之 常任理事）
 - 3.日本歯科医師会御挨拶（児玉 剛 常務理事）
 - 4.日本薬剤師会御挨拶（森 昌平 副会長）
 - 5.ご挨拶 厚生労働省 大臣官房 審議官 迫井正深様(さこい まさみ)
 - 6.御来賓紹介
- 進行：新田 國夫(在宅ケアアライアンス議長)

出席者：

住野 耕三 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 理事長

松浦 千春 一般社団法人 全国訪問看護事業協会 理事

坪根 雅子 一般社団法人 日本介護支援専門員協会 常任理事

蘆野吉和 一般社団法人日本在宅医療連合学会・特定非営利活動法人日本ホスピス・在宅ケア研究会

前田佳代子 一般社団法人 日本在宅栄養管理学会 理事長

辻 彼南雄 一般社団法人 日本在宅ケア学会

大橋 博樹 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会

白澤 政和 一般社団法人 日本ケアマネジメント学会 理事長

小倉和也 特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 新会長

祝電：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会

【全国在宅療養医歯薬連合会プログラム】

第1日目 9月28日(土)

第3回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会 大会長講演 14:00-14:30 第1会場(2F ホール AB)

演題「All Japan で在宅医療をブラッシュアップする」

演者：石垣 泰則(第3回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会 大会長/医療法人社団悠輝会コーラルクリニック)

特別講演 14:30-15:45 第1会場(2F ホール AB)

厚生労働省セッション

テーマ【在宅医療と医療政策】

演者：迫井 正深(厚生労働省)

指定発言：全国在宅療養支援診療所連絡会より

全国在宅療養支援歯科診療所連絡会より

全国薬剤師・在宅療養支援連絡会より

シンポジウム 19:45-21:45 第1会場(2F ホール AB)

テーマ【求められる医療・看護・介護の連携～介護の専門性を考える～】

座長：太田 秀樹(医療法人アスムス)

シンポジスト・演題

「指定発言」

大島 伸一(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)

1-1 『『生きる』をともに創る仕事 介護』

堀田 聡子(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

1-2 「新しい在宅医療の概念における介護福祉士の役割」

蘆野 吉和(日本在宅ケアアライアンス 統括チーム 委員/日本在宅医療連合学会/日本ホスピス・在宅ケア研究会/社会医療法人北斗地域包括ケア支援センター)

1-3 「介護の専門性を理解する」

福田 裕子(まちのナースステーション八千代)

1-4 「介護福祉士の専門性とは～求められる介護福祉士像～」

宮崎 則男(社会福祉法人秋葉福祉会特別養護老人ホームこうめの里)

シンポジウム 2 9:45-11:45 第2会場(3F HALL C)

テーマ【在宅医療政治連盟合同セッション これからの在宅医療に期待すること～医療介護連携～】

座長：島田 潔(在宅医療政治連盟 会長)

演者

2-1 吉田 学(厚生労働省) 2-2 新谷 正義(衆議院議員) 2-3 田村 憲久(衆議院議員)

共催：在宅医療政治連盟共催

シンポジウム 3 9:30-11:30 第4会場 (3F ルーム A)

テーマ【明日がもっと元気になる！～「栄養・摂食嚥下・褥瘡」の対応と実践～】

座長：小原 道子（ウエルシア薬局株式会社/岐阜薬科大学地域医療薬学寄附講座）

演者・演題

3-1「明日がもっと元気になる！～「栄養・摂食嚥下・褥瘡」の対応と実践～」

川口 美喜子（大妻女子大学 家政学部）

3-2「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」

戸原 玄（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻 老化制御学講座高齢者歯科学分野）

3-3「運動と栄養が褥瘡対策になる？」

塚田 邦夫（医療法人社団研医会 高岡駅南クリニック）

第2日目 9月29日（日）

シンポジウム 4 10:10-12:00 第4会場 (3F ルーム A)

テーマ【在宅医療の国際展開とアジア健康構想】

座長：高林 克日巳（三和病院）

シンポジスト・演題 「基調講演：アジア健康構想について」

森田 弘一（内閣官房健康・医療戦略室）

4-1「台湾との人材交流を通じた在宅医療の国際展開の可能性について」

和田 忠志（医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部/国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部）

4-2「シンガポールにおける ICT を活用した在宅医療の国際展開事例」

武藤 真祐（医療法人社団鉄祐会）

4-3「タイの地域住民が希望する在宅ケア—JICA 草の根技術協力事業を通して」

東田 吉子（佐久大学）

「パネルディスカッション：「日本の在宅医療の強みと国際展開に向けたポイント」」

シンポジウム 5 13:50-15:50 第4会場 (3F ルーム A)

テーマ【人生会議（ACP）における多職種協働のあり方】

座長：白木 裕子（一般社団法人日本ケアマネジメント学会）

望月 弘彦（相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科）

シンポジスト・演題

5-1「人生会議（ACP）における医師と在宅療養支援診療所の役割を考える」

鶴岡 優子（つるかめ診療所）

5-2「本人・家族の意思決定支援における介護支援専門員の役割」

羽石 芳恵（野口株式会社 介護ショップ ハーティケア/日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会）

5-3「人生会議（ACP）における多職種連携のあり方」

黒澤 加代子（日本ホームヘルパー協会東京都支部）

5-4「人生会議（ACP）における訪問看護師の役割」

田中 千賀子（田園調布医師会立訪問看護ステーション）

ケアカフェ 14:20-15:50 第3会場 (3F HALL D) テーマ【認知症】

講師：益満 健雄 (株式会社マスミツ薬品)

大森 眞樹 (ケアカフェくまもと実行委員/きらきら薬局)

三浦 輝久 (株式会社ファルマステップ)

【全国在宅療養支援診療所連絡会プログラム】

第1日目 9月28日 (土)

在宅療養支援診療所連絡会 大会長講演 14:10-15:10 第3会場 (3F HALL D)

テーマ【**キュア志向の病院医療と (キュア・) ケア志向の在宅医療 (病院外医療) の哲学 (文化) の違い —良質な病診連携を目指して**】

座長：和田 忠志 (医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部/国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部)

演題【**キュア志向の病院医療と (キュア・) ケア志向の在宅医療 (病院外医療) の哲学 (文化) の違い**】

演者：中野 一司 (医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック)

シンポジウム 1 9:30-11:30 第3会場 (3F HALL D)

テーマ【**最新の再生医療とリハビリテーション医療を在宅で繋ぐ**】

座長：藤原 俊之 (順天堂大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学)

演者・演題

1-1 「生活期リハビリテーション医療において在宅医療現場で在宅医ができること」

石垣 泰則 (医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック)

1-2 「機能回復の脳科学」

伊佐 正 (京都大学 大学院医学研究科 高次脳科学講座 神経生物学分野/京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (WPIASHBi))

1-3 「脳卒中における再生医療の研究進捗状況・臨床応用の実際」

弓削 類 (広島大学大学院 医系科学研究科/広島大学 宇宙再生医療センター)

1-4 「関節軟骨の再生医療 基礎と臨床」

中村 憲正 (大阪保健医療大学)

シンポジウム 2 15:20-17:50 第3会場 (3F HALL D)

テーマ【**在宅医療の推進と、病院医療と在宅医療 (病院外医療) の良質な連携を模索する**】

座長：和田 忠志 (医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部/国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部)

中野 一司 (医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック)

演者・演題

「基調講演 人口構造の変容と在宅医療の展望」

島崎 謙治 (政策研究大学院大学)

2-1 「かかりつけ医の在宅医療」

鈴木 央（鈴木内科医院）

2-2 「急性期病院として取り組む在宅医療 2025 年をめざして」

高山 義浩（沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科）

2-3 「病院から、暮らしの場へ～何故、在宅医療移行が進まない？～」

宇都宮 宏子（在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス）

「総合討論」

第 2 日目 9 月 29 日（日）

シンポジウム 3 9:00-12:00 第 2 会場（3F HALL C）

テーマ【人生会議（ACP）の本質に迫る】

座長：新田 國夫（医療法人社団つくし会）

シンポジスト・演題

「基調講演 ACP の本質、あるいは ACP を実践するのに大事なことは何か」

稲葉 一人（中京大学）

3-1 「「よりよく生きる」ため、人生について考える」

鈴木 央（鈴木内科医院）

3-2 「人生会議（ACP）と在宅歯科医療」

三木 次郎（三木歯科医院）

3-3 「人生会議（ACP）と訪問薬剤師」

高橋 眞生（カネマタ薬局）

3-4 「訪問看護師が考える ACP 実践」

高砂 裕子（全国訪問看護事業協会）

「総合討論」

指定発言：稲葉 一人（中京大学）

【全国在宅療養支援歯科診療所連絡会プログラム】

第 1 日目 9 月 28 日（土）

シンポジウム 1 14:15-15:45 第 2 会場（3F HALL C） テーマ【地域における訪問診療の実際】

座長：諸井 英二（医療法人和光会 天理駅前歯科診療所）

兼久 大輔（兼久歯科医院）

演者・演題

1-1 「岐阜市における在宅歯科医療の推進」

萩谷 勅信（本荘歯科医院/岐阜県地域歯科医療研究会）

1-2 「地域に根差す開業歯科医師の立場から診療所の概要とマネジメント」

渡邊 宏春（さくらばし歯科医院）

1-3 「京都市南区における当院の訪問診療と地域連携の取り組み」

高木 理史（医療法人純康会 徳地歯科医院）

1-4「在宅医科クリニックでの「食楽支援」の取り組み」
合掌 かおり（医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック）

シンポジウム 2 16:00-17:30 第2会場（3F HALL C）

テーマ【地域連携・地域づくり・多職種協働】

座長：中里 義博（（医）社団中友里会 中里歯科医院）

三木 次郎（全国在宅療養支援歯科診療所連絡会）

演者・演題

2-1「歯科を主体とする医科歯科併設診療所における、食支援を主軸とした多職種連携の取り組み」

猪原 健（医療法人社団 敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科）

2-2「ことなみ流！ワクワクする地域包括ケア～そうだ、皆でスーパーに行こう～」

丸岡 三紗（まんのう町国民健康保険造田歯科診療所）

2-3「在宅重症心身障害児・者の口腔健康管理と多職種協働の取り組み～室活動を通して感じたこと～」

吉本 美枝（京都府歯科医師会口腔サポートセンター）

2-4「おやま みらい研究会～在宅療養を支える人たちの相互理解を深めたい～」

大友 文雄（大友歯科医院/おやま みらい研究会）

第2日目 9月29日（日）

歯援診・か強診 歯科施設基準認定講座 9:45-11:45 第3会場（3F HALL D）

座長：兼久 大輔（兼久歯科医院）

講師・演題

1「在宅における摂食嚥下支援」

菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

2「緊急時の対応、薬物使用の際の注意点について」

上村 俊介（総合病院山口赤十字病院 歯科口腔外科）

3「VF/VE が整わない環境における嚥下の診方と評価の書き方～評価の原点 4つの箱とは～」

大石 善也（大石歯科医院）

訪問歯科衛生士セッション 14:00-15:30 第2会場（3F HALL C）

テーマ【院内連携強化で地域多職種連携をスムーズに！一広がる歯科衛生士訪問の効果と可能性一】

座長：篠原 弓月（口腔栄養サポートチーム レインボー）

演者・演題

1「口腔栄養サポートチーム レインボーの活動」

川野 麻子（口腔栄養サポートチーム レインボー）

2「食べるを支える 歯科訪問診療でのかかわり」

佐藤 美紀（さくらばし歯科医院）

3「歯科衛生士事務所の可能性一歯科衛生士単独訪問 20年の軌跡一」

曾根 真砂子（元気なお口研究会 まほろば）

4 「地域歯科医師会における訪問歯科衛生士の役割」

東澤 雪子（藤沢市歯科医師会 在宅歯科医療地域連携室）

【全国薬剤師・在宅療養支援連絡会プログラム】

第1日目 9月28日（土）

シンポジウム 1 14:05-15:35 第4会場（3F ルーム A）

テーマ【現場で活かす薬物動態】

座長：大木 一正（株式会社クリーン薬局）

演題【薬物相互作用や臓器障害等の薬物動態変動要因の考え方と薬剤師の関わり】

講師：大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

シンポジウム 2 15:50-17:50 第4会場（3F ルーム A）

テーマ【多職種から見た薬と薬剤師から見た薬】

座長：大木 一正（株式会社クリーン薬局）

高橋 眞生（カネマタ薬局）

講師・演題

2-1 「在宅医療における栄養士と薬剤師の関わり」

西村 一弘（駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科/社会福祉法人 緑風会 緑風荘病院 栄養室/公益社団法人東京都栄養士会）

2-2 「看護師からみた薬：高齢者の療養生活を支援する立場から」

長瀬 亜岐（大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座）

2-3 「多職種から見た薬と薬剤師から見た薬～ケアマネジャーの立場から～」

杉田 勝（船橋市新高根・芝山、高根台地域包括支援センター/船橋市介護支援専門員協議会）

2-4 「多職種から見た薬と薬剤師から見た薬」

小林 輝信（徳永薬局株式会社 在宅医療部）

第2日目 9月29日（日）

シンポジウム 3 9:30-12:00 第1会場（2F ホール AB）

テーマ【薬物療法マネジメント～高齢者の医薬品適正使用の指針～】

座長、講師：川添 哲嗣（高知大学医学部附属病院 薬剤部）

講師・演題

3-1 「高齢者の医薬品適正使用の指針を現場で活用するためのポイント」

溝神 文博（国立長寿医療研究センター 薬剤部）

3-2 「認知症、不眠症などにおける薬物療法適正使用の考え方と留意点」

水上 勝義（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

【一般演題】

第2日目 9月29日（日）

口頭発表 8:45-10:00 第4会場（3F ルーム A）

演者・演題

1 「大型化が進む東京都の在宅療養支援診療所の特異性」

白木 秀典（保健医療経営大学 保健医療経営学部）

2 「有床診療所の有効活用とは？～在宅医療と病診連携の推進をとおして～」

安中 正和（安中外科・脳神経外科医院）

3 「誤嚥性肺炎を繰り返す ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者に対する有効な口腔ケアの 1 症例」

飛田 薫（医療法人顕樹会 本田歯科クリニック）

4 「放射光 X 線を用いた米飯及び嚥下食の性状分析」

三木 宏美（総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻/高エネルギー加速器科学研究機構 物質構造科学研究所/三木歯科医院）

5 「サービス付き高齢者住宅において開始時期に訪問回数を増やす事で処方を適正化出来た 1 例」

鈴木 康友（シーエスグループ 株式会社横須賀薬局 森のシティ薬局）

6 「在宅での薬剤師の役割～がん患者さんへの仏痛コントロールと連携～」

湯川 仁（仁天堂薬局 本店）

7 「台北市立病院日本人研修報告」

吉田 伸

栄原 智文

ポスター発表 ポスター会場（3F ホワイエ）

演者・演題

1 「認知症高齢者の服薬管理において退院前カンファレンスを通じた薬剤師の在宅支援」

早瀬 友和（名古屋掖済会病院 薬剤部）

2 「高齢者における DOAC 処方の減量規定調査—NDB データ解析—」

三谷 徳昭（ミライ☆在宅委員会/ハル薬局菅生店）

3 「薬剤師の居宅療養管理指導によりメトホルミンによる乳酸アシドーシスへの進展を防いだ高齢糖尿病患者の 1 例」

阿部 真也（ワイズ株式会社 つなぐ薬局/ミライ☆在宅委員会）

4 「薬剤師の施設訪問診療同行における他職種からの評価と問題点」

小野 光子（善快堂薬局）

5 「地域薬剤師の 4 年間の減薬実績とポイント」

三谷 徳昭（ミライ☆在宅委員会/ハル薬局菅生店）

6 「地域薬剤師の在宅訪問業務における減薬実績と今後の課題」

程 香菜子（ミライ在宅委員会）

7 「がん終末患者における CADD Legacy®を使用した当薬局の取り組み」

中丸 和則（仁天堂薬局）

8 「地域薬局の往診同行による処方介入実績」

杉本 進悟（Chloe Pharmacy 株式会社 みんなの薬局 東中野駅前店）

9 「薬剤師在宅訪問業務の質を向上させる要因の検討～2015 年、2019 年患者満足度アンケート結果から～」

北條 雄也（一般社団法人 大阪ファルマプラン あおぞら薬局）

10 「ICT（Medical Care Station）を活用した情報連携と今後の薬剤師業務」

小林 輝信（徳永薬局株式会社 在宅医療部/在宅療養支援クリニック かでの風）

11 「当薬局の在宅患者における店舗閉局後対応についての報告」

中西 裕道（徳永薬局株式会社 在宅医療部）

【共催セミナー】

第1日目 9月28日（土）

ランチョンセミナー（LS1）12：00-13：00 第1会場（2F ホール AB）

演題「在宅栄養に必要なのは管理？支援？～その人らしく生き抜くには～」

座長：太田 秀樹（医療法人アスムス）

演者：洪 英在（三重県立一志病院 家庭医療科）

共催：株式会社大塚製薬工場

ランチョンセミナー（LS2）12：00-13：00 第2会場（3F HALL C）

演題「在宅療養を支える認知症診療」

座長：新田 國夫（医療法人社団つくし会 新田クリニック）

演者：長田 乾（横浜総合病院 臨床研究センター）

共催：アボットジャパン株式会社

ランチョンセミナー（LS3）12：00-13：00 第3会場（3F HALL D）

演題「痙縮治療の実際」

座長：川上 途行（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 専任講師）

演者：藤原 俊之（順天堂大学 大学院医学研究科 リハビリテーション医学）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー（LS4）12：00-13：00 第4会場（3F ルーム A）

座長：山下 巖（医療法人社団法山会山下診療所 全国医療介護連携ネットワーク研究会）

演者・演題

4-1 「職能団体が中心となり ICT を活用して地域をバーチャル病院として機能させる」

高田 靖（公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会）

4-2 「オンライン診療、多職種連携 SNS サービスの今後の展望」

野村 和至（医療法人社団 野村医院/東京大学加齢医学講座）

4-3 「MCS は（キュア・）ケア志向の在宅医療と相性が良い」

中野 一司（ナカノ在宅医療クリニック）

共催：エンブレース株式会社

第2日目 9月29日（日）

ランチョンセミナー (LS5) 12:30-13:30 第1会場 (2F ホール AB)

演題「パーキンソン病診療における薬物治療の変遷～ラサギリンの役割とは～」

座長：石田 義則 (一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 脳神経疾患センター)

演者：服部 信孝 (順天堂大学医学部神経学講座)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー (LS6) 12:30-13:30 第2会場 (3F HALL C)

演題「高齢難聴患者とのコミュニケーションミスが及ぼす在宅医療における影響」

座長：米山 武義 (米山歯科クリニック)

演者：中石 真一路 (ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社/広島大学宇宙再生医療センター 研究員)

共催：ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

ランチョンセミナー (LS7) 12:30-13:30 第3会場 (3F HALL D)

演題「レビー小体病の在宅医療」

座長：工藤 千秋 (くどうちあき脳神経外科クリニック)

演者：織茂 智之 (関東中央病院 神経内科)

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー (LS8) 12:30-13:30 第4会場 (3F ルーム A)

演題「【M&A 体験談】医療法人の事業承継を検討するタイミングとは!？」

座長：石垣 泰則 (コーラルクリニック)

演者：横山 朗 (株式会社日本 M&A センター 医療介護支援部)

共催：株式会社日本 M&A センター

スポンサードシンポジウム 14:00-15:30 第1会場 (2F ホール AB)

テーマ【ALS 患者の転院、在宅移行に備えた診療のポイント・留意点、病診連携の在り方】

司会：石垣 泰則 (医療法人社団悠輝会コーラルクリニック)

演者：丸木 雄一 (埼玉精神神経センター)

塚本 忠司 (塚本医院 (京都市))

伊藤 こずえ (八王子市医師会立訪問看護ステーション 訪問看護師)

松本 佳子 (ファーコス薬局 新宿店 薬剤師)

共催：田辺三菱製薬株式会社

「この大会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成による」